

令和6年度埼玉県退職校長会の主な行事予定

- 定期総会：令和6年6月7日(金)共催事業(講演会)開催 比企・嵐山町「国立女性教育会館」(ヌエック)
- 支部総会：5月 10支部10会場
- 支部長会：5月、9月、令和7年2月(年3回)
- 「彩の国教育の日」協賛、現・退職校長教育推進協議会：令和6年10月～11月 (各支部10会場)
- 現職・退職校長会役員研究協議会：12月
- 第27回囲碁大会：10月4日(金)別所沼会館
- 理事会：令和6年10月、令和7年3月 (年2回)
- 県知事・県教委等への要望書提出：9月他
- 会報発行(年3回) ニュースレター(年2回)
- 第18回ゴルフ大会：10月21日(月)吉見ゴルフ場

支部情報

<北埼玉支部>の活動紹介(令和5年度)

- 定期総会 令和5年5月22日(月)14時～ 会場：ワークヒルズ羽生
- 講演会(総会后) 演題「これから どう生きよう」講師 埼玉純真女子大学 学長 藤田利久 氏
- 理事会(正副会長・顧問・理事・広報部長・幹事)年2回
- 正副会長等会議(正副会長・各班連絡員・広報部長・福利厚生部・幹事)年4回
- 「彩の国 教育の日」協賛 現職・退職校長教育推進会議 11月8日(水)加須市北川辺文化学習センター(提案者) 現職：加須市立加須東中学校 中島直哉 氏 (82名参加)
退職：元加須市立不動岡小学校 森 正一 氏
- グラウンドゴルフ交流会 10月20日(金) 会場：行田市総合公園第2自由広場 (16名参加)
- 会報発行 「会誌」5月発行(第55号)

情報提供

令和6年度教員採用選考試験結果

[]内は前年度

	埼玉県				さいたま市			
	1次受験者	1次合格者	最終合格者	倍率	受験者	1次合格者	2次合格者	倍率
小学校教員	1,399[1,547]	1,306[1,516]	719[850]	1.9[1.8]	431[409]	340[344]	200[168]	2.2[2.4]
中学校教員	1,647[1,760]	883[941]	453[481]	3.6[3.7]	517[494]	383[380]	100[125]	5.2[4.0]
高等学校等教員	1,247[1,278]	644[694]	307[351]	4.1[3.6]				
特別支援学校教員	357[388]	335[381]	202[205]	1.8[1.9]	128[92]	106[80]	70[50]	1.8[1.8]
養護教員	328[344]	91[111]	45[56]	7.3[6.1]	68[59]	43[42]	15[13]	4.5[4.5]
栄養教員	80[74]	22[25]	10[12]	8.0[6.2]	65[47]	32[24]	15[16]	4.3[4.7]
合計	5,058[5,391]	3,281[3,668]	1,736[1,955]	2.9[2.8]	1,209[1,101]	904[870]	400[360]	3.0[3.0]

令和6年度登載管理職選考試験結果

	埼玉県				さいたま市					
	小中学校長		小中教頭		県立学校		6年度	前年度	6年度	前年度
	6年度	前年度	6年度	前年度	6年度	前年度	前期	後期	前期	後期
受考者数	502(89)	517(86)	263(58)	272(63)	46(15)	37(4)	70(12)	8(3)	67(10)	9(5)
A B別合格者						A(前期) B(後期)	45(8)		53(7)	
A B別倍率						12(2) 25(2)	25(5)	1(0)	33(6)	2(2)
最終合格者	181(38)	181(35)	239(54)	231(54)	40(14)	11(2) 22(1)	25(5)	1(0)	33(6)	2(2)
最終競争倍率	2.79	2.86	1.1	1.18	1.15	1.09 1.14	2.80	8.00	2.03	4.50

()内は女性(内数)

班別会員数(令和6年1月末現在)

埼玉県退職校長会

支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計		
さいたま市	浦和	141	395	人間	越生	26	289	秩父市	秩父	77	177	埼玉葛	春日部	77	538		
	与野	39			毛呂山	29			秩父	35			越谷	99			
	大宮	169			坂戸	57			小鹿野	32			久喜	80			
	岩槻	46			鶴ヶ島	28			皆野	33			八潮	30			
北足南部	川口	230	525		入間	54		148	児玉	本庄	46		148	蓮田		35	538
	蕨・戸田	80			東部	72				本庄児玉	32			三郷		51	
	草加	94			滑川	17				上里	24			白岡		24	
北足北部	朝霞	121	235		嵐山	24		328	大里	美里	12		328	宮代		31	538
	上尾	114			小川	56				神川	34			幸手		38	
人間	川越	145	720		ときがわ	16		269	北埼玉	熊谷	176		269	杉戸		29	3,624名 (10支部57班)
	狭山	76		鳩山	10	深谷	111			松伏	10						
	所沢	129		川島	20	寄居	41			吉川	34						
	飯能	62		吉見	31	行田	69										
	日高	42		東秩父	13	羽生	69										
								加須	131								

今年度よりの地方公務員段階の定年延長開始にあたり、当会の入会案内対象を以下の通りとしました。

- 入会案内の対象を「当該年度内に満 60 歳になり年度末で役職定年を迎える校長」とします。
- 該当者への「入会のご案内」は、各年度の第 1 回理事会（10 月）にて配布します。
- 上記以外の以下の方々も従来通り対象者です。各支部毎に入会案内を積極的に進めていきます。

- (1) 定年退職ではないが、校長としての職は終わる方 (2) 定年前に退職した方
(3) 令和 4 年度以前に入会しなかった方 (4) 中途退会した方

埼玉県退職校長会
QR コード



※「入会のご案内」リーフレットは当会 Web ページにてダウンロードしてご利用ください。→

深刻化する教員不足、止まらぬ教員志願減少への方策について ～「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のために～

1 教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）【概要】 ～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～ (令和 5 年 8 月 28 日 中央教育審議会[質の高い教師の確保特別部会]より)

- 「教育は人なり」と言われるように、学校教育の成否は教師にかかっている。教師は子供たちの成長を直接感じることができる素晴らしい職業である。
- 我が国の学校教育の成果は高い専門性と使命感を有する教師の献身的な取組によるものである。
- 教師の時間外在校等時間は一定程度改善したが、依然として長時間勤務の教師が多い状況であり、持続可能な教育環境の構築に向けて、教育に関わる全ての者の総力を結集して取り組む必要である。
 - ・ 国、都道府県、市町村、各学校などが自分事としてその権限と責任に基づき主体的に取り組む。
 - ・ 保護者や地域住民、企業など社会全体が一丸となって課題に対応する。
- 改革の目指すべき方向性は、教師のこれまでの働き方を見直し、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすること。教師が教職生涯を通じて新しい知識・技能等を学び続け、質の高い教職員集団を実現していくことは、我が国の学校教育の充実にとって極めて重要である。

<取組の具体策>

1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
 - (1) 「学校・教師が担う業務に係る 3 分類」を徹底するための取組
 - (2) 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
 - (3) ICT の活用による校務効率化の推進
2. 学校における働き方改革の実効性の向上等
 - (1) 地域、保護者、首長部局等との連携協働
 - (2) 健康及び福祉の確保の徹底
 - (3) 学校における取組状況の「見える化」に向けた基盤づくり
3. 持続可能な勤務環境整備等の支援の充実
 - (1) 教職員定数の改善 (2) 支援スタッフの配置充実
 - (3) 処遇改善 (4) 教師のなり手の確保

※教師のなり手の確保について

・「教師のなり手」を発掘するための教育委員会と大学・民間企業等との連携・協働による教職の魅力発信等やマッチングの効率化や入職前研修等への支援、大学と教育委員会による教員養成課程の見直しや地域枠の設定、奨学金の返還支援に係る速やかな検討を推進する。



2 公立学校教員の志願者減少への各教育委員会の様々な工夫 (埼玉新聞 令和 5 年 9 月 26 日より)

～埼玉県教育委員会～

2024 年度実施県公立学校教員採用選考試験から第 1 次試験の一部を大学 3 年生も受験可能とし、4 年次の負担を軽減し受験しやすい環境を整えることで教員志願者の早期確保を図る。

大学 3 年生の受験が可能となるのは全志願区分(小学校等教員, 中学校等教員, 高等学校等教員, 特別支援学校教員, 養護教員, 栄養教員)で第 1 次試験の一部筆答試験種目が対象。受験可能種目については現在検討中で早期の発表を目指している。

～さいたま市教育委員会～

2024 年度実施の市立学校教員採用試験から、大学 3 年生が第 1 次試験を受験できる制度を導入。大学 3 生対象に実施していた「さいたま市教師塾『夢』講座」は大学 2 年生に前倒しする。教員を目指す学生の負担を軽減して、受験しやすい環境を整える。

新たに導入される「Step Up 選考」は、大学 3 年生が 1 年早く 1 次試験の筆答試験受験を可能にし、選考通過者は次年度の 1 次試験の筆答試験を免除され、4 年時に面接試験に集中して取り組めるようにする。

3 埼玉大学が入試制度に「地域枠」 (読売新聞 令和 5 年 11 月 26 日より)

「地域枠」は若者の流出を食い止めたい地元と優秀な学生を確保したい大学の思惑が一致し、国立大の約 6 割が導入。教育学部は小学校の教員になる意欲を持った方が対象。埼玉大学では 2025 年度入学生を対象に 8 月下旬に説明会を実施。埼玉県教委やさいたま市教委の要望に応えた形である。